

ナラ枯れ被害と防除



▲ナラ枯れの集団被害林



▲立ち枯れした被害木



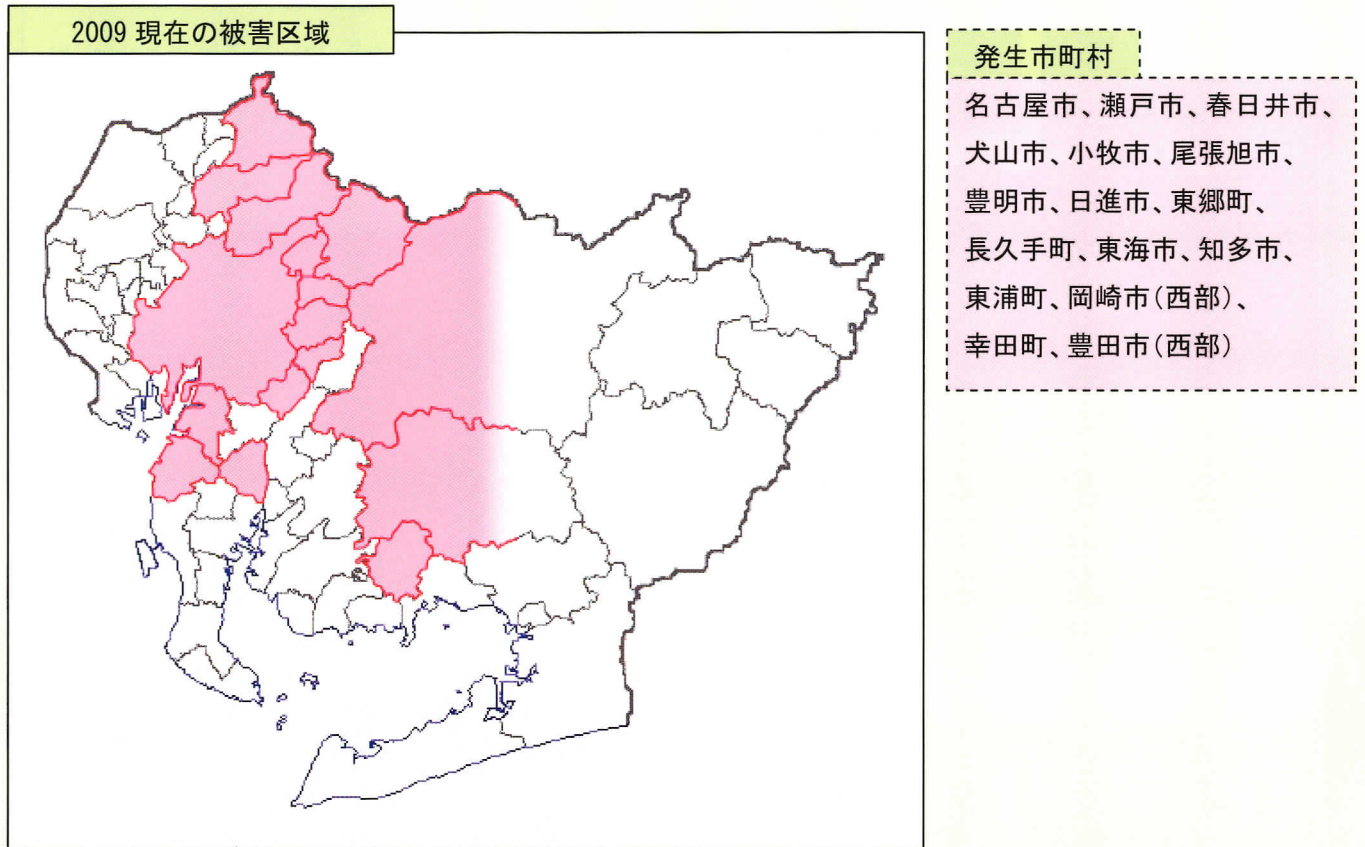
▲カシノナガキクイムシが穿孔して排出した木粉等

ナラ枯れとは、ナラ類やシイ・カシ類などの樹幹にカシノナガキクイムシが穿入し、ナラ菌を樹体に感染させ、菌が増殖することで、水の吸い上げる機能を阻害して枯死させる伝染病です。被害を発見したら拡大しないように**早期に防除**しましょう。

1 ナラ類の集団枯死被害

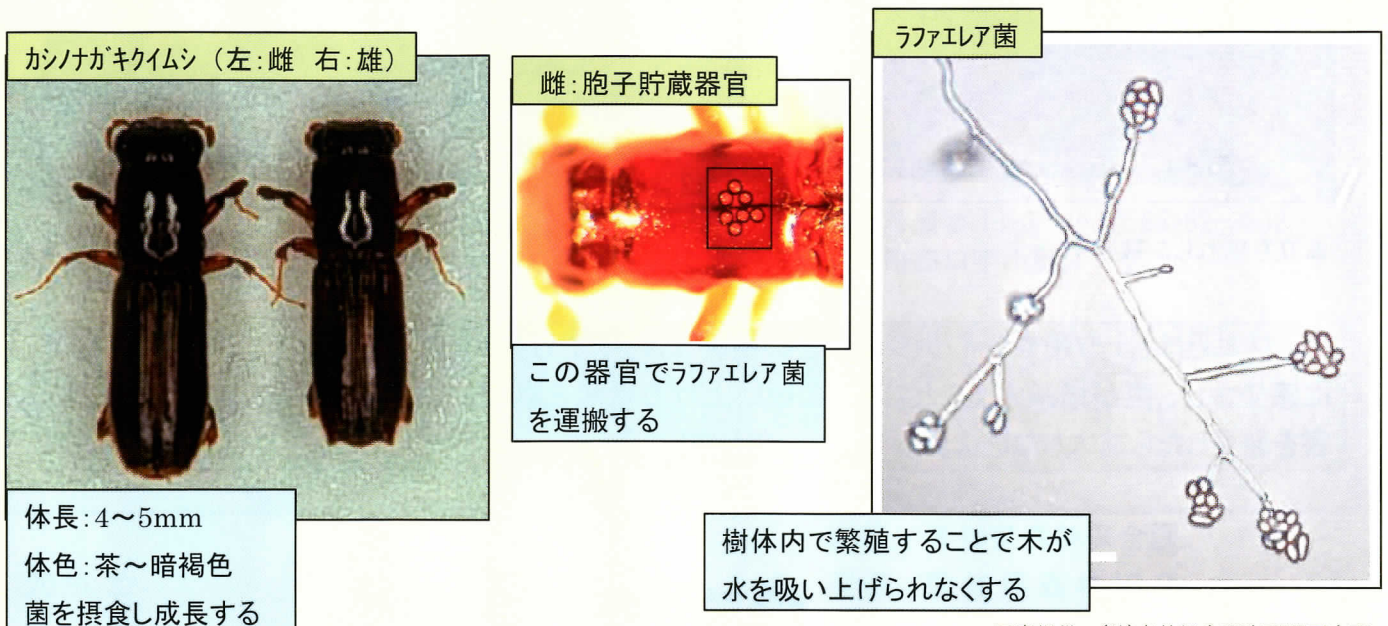
ナラ類が集団で枯死する被害（以下、「ナラ枯れ」という。）は、全国では日本海側の地域を中心として、発生（2008年は23府県）しております。

愛知県では、2006年に名古屋市などで枯死木が確認されました。被害は、年々拡大して2009年現在では尾張、西三河地域まで広がっています。



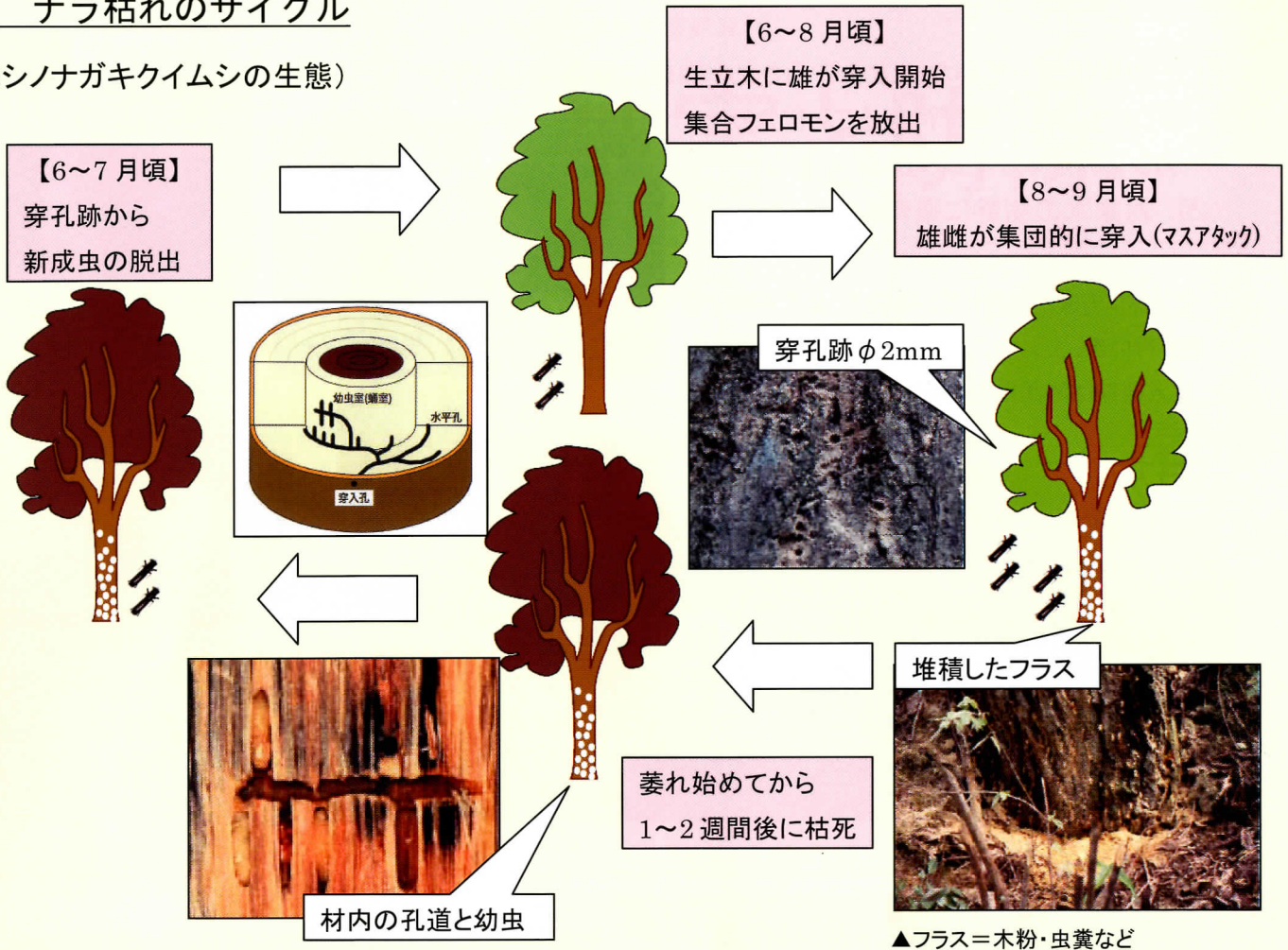
2 ナラ枯れの原因

ナラ枯れは、梅雨明け後に葉が赤褐色に変色し立ち枯れる萎凋病で、その原因はカシノナガキクイムシが生立木の樹体内に運び込むラファエリア菌（ナラ菌）が繁殖して、水の吸い上げを阻害することによるものです。



3 ナラ枯れのサイクル

(カシノナガキクイムシの生態)



4 被害を受ける樹種

写真提供: (独)森林総合研究所関西支所

全国では日本産ブナ科(ブナ属を除く)の多くの種で被害が確認されています。被害を受けやすい樹種は下表のとおりで、特にミズナラとコナラの枯死被害が多発しています。ただし、穿孔を受けても樹木の防御反応により、全てが枯死に至るわけではありません。

<コナラ属>	ミズナラ、コナラ、ウバメガシ、クヌギ、アベマキ、カシワ、イチイガシ、アカガシ、アラカシ、ウラジロガシ、シラカシ				
<クリ属>	クリ	<シイ属>	スダジイ、ツブラジイ	<マテバシイ属>	マテバシイ

5 防除方法

駆除

- (1) 被害木を伐倒し、カシノナガキクイムシ穿入部分を焼却する。^{※1}
- (2) 被害木を伐倒し、ビニールで被覆して、カシノナガキクイムシくん蒸駆除薬剤の処理を行う。^{※1}
- (3) 被害立木の幹部(高さ1.5m程度まで)に千鳥状にドリルで穴を開け、使用方法に準じた薬剤量を注入し、くん蒸する



予 防

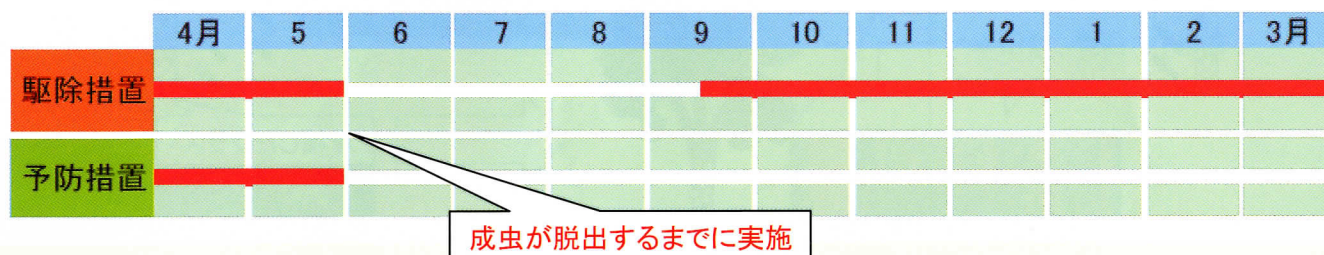
- (1) 被害に遭っていない木を守るため、樹幹に被覆材(粘着剤、ビニール等)を塗布又は巻き付けることによりカシノナガキクイムシの穿入を防ぐ。
- (2) 対象木の樹幹に薬剤を注入する。^{※2}

※1 切り株にも虫が生存しているので、必ず薬剤で処理を行きましょう。

※2 注入時期は開葉期から成虫脱出前(4~5月)



防除スケジュール



《防除における注意点》

- 1 伐倒は危険が伴うため、伐倒の経験(チェーンソー業務安全衛生教育修了者)のある方が行いましょう(特に広葉樹の伐倒には経験と技術が必要です)
- 2 使用する薬剤は、使用方法及び各種法令等を遵守し、適正に使用しましょう(使用の際には、周囲の人が薬剤を使用していることが察知できるよう、必ず警告板等を設置しましょう)

『ナラ枯れ』に関する相談は、下記の県の事務所もしくは市町村役場をお願いします。

尾張農林水産事務所	林務課	〒460-0001 名古屋市中区三の丸二丁目 6-1	TEL<052>961-7211
知多農林水産事務所	林務課	〒475-0903 半田市出口町 1-36	TEL<0569>21-8111
西三河農林水産事務所	林務課	〒444-0860 岡崎市明大寺本町 1-4	TEL<0564>23-1211
豊田加茂農林水産事務所	林務課	〒471-8566 豊田市元城町 4-45	TEL<0565>32-7361
新城設楽農林水産事務所	森林整備課	〒444-2424 豊田市足助町陣屋跡 19-3	TEL<0565>62-0502
	林業振興課	〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字小貝津 6-2	TEL<0536>62-0547
東三河農林水産事務所	新城林務課	〒441-1365 新城市字石名号 20-1	TEL<0536>23-2111
	林務課	〒440-0806 豊橋市八町通五丁目 4	TEL<0532>54-5111
愛知県農林水産部農林基盤担当局	林務課	〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目 1-2	TEL<052>961-2111
森林保全課森と緑づくり推進室 (同上)			

編集／愛知県森林保全課

発行／愛知県森林協会

(森林整備加速化・林業再生事業愛知県協議会)